

予算審査特別委員会

第15号議案・平成30年度白石市一般会計補正予算(第6号)から第26号議案・平成31年度白石市下水道事業会計予算までの計12議案について、定例会2日目(2月27日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・山谷清、副委員長・澁谷政義)は、2月28日から3月4日までの間で審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成30年度白石市一般会計補正予算(第6号)

農林水産業費

〔質疑〕補正した地籍調査費について、作業内容と今後の見通しを伺う。

〔答弁〕今回、補正で計上している予算は、平成31年度に予定の本町、八幡町、益岡など0.77平方キロメートルで、駅前方面、兎作、沢目なども取り組んでいく予定としている。

終了年度は、平成33年度完了予定を見越して現在進めているところである。

消防費

〔質疑〕ハザードマップ作成業務について、浸水想定区域や土砂災害警戒区域等のハザードマップを作成するとしているが、火山災害なども取り入れるのか伺う。

〔答弁〕掲載するデータは、浸水想定区域、土砂災害警戒区域等を考えており、火山災害については、火山災害のハザードマップが既にあることから、そちらで対応していきたいと考えている。

総務費

◎平成31年度白石市一般会計予算

〔質疑〕企画費の甲冑試着体験強化委託料について、強化委託料となっているが、通常の甲冑試着とは違う新たな取り組みなのか伺う。

〔答弁〕これまでの甲冑試着は、白石城に来た観光客に試着していただいていたが、壽丸屋敷に来た観光客についても甲冑試着をしていただくよう、事業の予算を計上しているものである。

〔質疑〕企画費の備品購入として公用車の購入費が計上されているが、その詳細と用途について伺う。

〔答弁〕公用車は、市民バス2台の購入を予定している。新たに小型の市民バスを1台、ワンボックス型の市民バスを1台としており、現在稼働している古いバス2台との入れ替えを予定している。ワンボックス型の市民バスの

定員は14名の予定となっており、本車両の路線は、小原線の運行を考えている。

民生費

〔質疑〕心のケアプロジェクト事業のうち、子ども部門については、保育の質の向上のため、発達障害や行動が気になるお子さんへの保育士のかかわり方や事例の研修を行うとの説明があった。

この研修の詳細と講師はどのような方がなるのか伺う。

〔答弁〕心のケアプロジェクトについては、各園で対象となった園児のクラスを持った保育士や主任保育士、園長が研修会で指導を受けることを想定している。

回数是一年一回を予定しており、子どもの発達に関する見解を持った医師が講師となりアドバイスをいただくこととしている。

衛生費

〔質疑〕放射能対策費は前年度予算より1千200万円ほど増加している。

これは農林業系廃棄物の本焼却費用を計上したことによると思うが、今後の焼却計画について伺う。

〔答弁〕農林業系廃棄物の本焼却のスケジュールについては、平成31年度は4月に契約事務を予定しており、本焼却に入るのは5月中旬からと考えている。

また、仙南地域広域行政事務組合との協議により、平成31年度については、堆肥から焼却する予定となっている。

農林水産業費

〔質疑〕市行造林費の委託料1千万円が計上されているが、昨年度は1千493万9千円であった。今回、減額された理由と森林環境譲与税の取り扱いはどうなるのか伺う。

〔答弁〕市行造林管理として森林の管理計画を5年ごと立てているが、その計画に基づき市行造林内の間伐等の整備を